

関係各位

(公財)東京都サッカー協会
シニア連盟 事務局

新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

引続き感染拡大予防対策を講じて事業を推進してまいりますので、各位のご理解とご協力をお願いします。

今後、感染状況に変化があった場合には、東京都等各機関の判断や対応方針に従います。なお、施設利用に際しては、各施設の使用ルールを遵守励行します。

【参加者(選手・役員・審判)】

- 周知の基本対策を各自が継続する。(手洗い、アルコール消毒など。)
- 体調の悪い(平熱をこえる発熱・咳・喉の痛みなどの風邪症状・倦怠感・臭覚、味覚の異常など)方は会場への来場を控える。(必要に応じて、当日に体温測定実施)
- マスクを持参する。他者と身体的距離(2M 目安)が確保できない中での“会話”のみ着用する。
- 専用タオル、専用飲料を準備持参する。(タオル使い回し、飲料回し飲み厳禁！)
- 毎日の検温(朝の体温測定)と記録保持を推奨する。
- フィールド上で唾・痰の吐き、うがい等をしない。
- 密となる更衣室使用を避けるため事前準備(着替え等)と短時間使用を励行する。
- 更衣後の衣類、タオル等は、袋に入れるなど他人に触れないよう管理する。

【チーム代表者(監督等責任者)】

- 体調の悪い(平熱をこえる発熱・咳・喉の痛みなどの風邪症状・倦怠感・臭覚、味覚の異常など)選手は参加させない。
- 使用施設によってコロナ関連の書類提出を求められる場合には、それに準ずる。(シニア連盟で運用している健康チェックシート、コロナ関係報告書は 2023 年度より廃止とする。)
- 試合前後のミーティング 3 密回避で実施する。(原則屋外で実施)
- 更衣室使用は使用施設のガイドラインに準ずる。
- チーム用の消毒液、ゴミ回収用ビニール袋の準備をする。

【試合運営】

- 会場設営時準備(消毒液等)とソーシャルディスタンス確保のベンチ設定をする。
- 本部運営担当者を限定(4 名まで)しソーシャルディスタンス確保をする。
- ベンチ入り参加者のソーシャルディスタンス確保をする。
- 先発選手のチェック(ユニフォーム、用具)はソーシャルディスタンス確保し実施する。
- 試合開始終了時のセレモニー(挨拶、握手等)は省略する。相手チーム、審判団との交流はグータッチを推奨する。
- 前半試合開始時のエンドもしくはKOは主審のトスによって決定する。
- 試合時の選手、審判はマスク着用をしない。
- 新型コロナウイルス感染症対策としての飲水タイムは原則として実施しない。ただし、熱中症対策ガイドラインの条件を満たした場合は実施することができる。
- 選手交代は同時の人数に制限はなく、選手の出入りも含めて各リーグの規定に従う。
(退場者は最も近い場所からピッチ外に速やかに出る。)
- チーム役員がテクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい。
- 会場撤去時に施設共用物品や備品、ドアノブ等手を触れる箇所の消毒をする。
- その他、記載なき事項、不明点は大会本部に確認ください。

— 以上 —